



# バイオ・エレクトロニクス・フォトニクスの融合による ニューロモルフィックコンピューティング

第73回応用物理学会春季学術講演会シンポジウム

生体神経の原理に学ぶニューロモルフィックコンピューティングは、従来の計算アーキテクチャを超える革新的な技術として注目されています。本シンポジウムでは、バイオ、エレクトロニクス、フォトニクスの最新研究を結集し、分野融合による新たな知能システムの可能性を議論します。

**日時** 3/17 (火) 13:30～18:30(予定)

**場所** 東京科学大学 大岡山キャンパス

**招待  
講演**

一般講演  
募集中!!

**池内 与志穂** (東京大学)

脳オルガノイドを用いたバイオコンピューティング(仮)

**酒井 洸児** (NTT物性科学基礎研究所)

培養神経回路とエレクトロニクスの新奇インターフェース技術(仮)

**香取 勇一** (公立はこだて未来大学)

リザバー計算に基づく生物規範コンピューティング(仮)

**田中 啓文** (九州工業大学)

大脳ネットワークの自発的活動と感覚応答の関係について(仮)

**酒見 悠介** (千葉工業大学)

超低消費電力AIを実現するアナログ・インメモリ計算の数理基盤(仮)

**稻垣 卓弘** (NTT物性科学基礎研究所)

光発振器ネットワークを用いた組合せ最適化と脳型情報処理への展開(仮)

**長谷川 幹雄** (東京理科大学)

無線通信システムにおけるリソース選択問題へのレーザカオス意思決定の応用(仮)

**大久保 潤** (埼玉大学)

クープマン作用素による非線形処理の線形化と光回路への応用(仮)